

国民保護に関するときがわ町計画に基づく

避難実施要領の様式及びパターン例

ときがわ町

平成29年11月

## 目 次

○参考資料 . . . . . P 2

### ○様式

様式 1 屋内避難における避難実施要領の様式 . . . . . P 3

様式 2 町域内避難及び町域外避難における避難実施要領の様式 . . . P 4

様式 3 最小限の項目に限った避難実施要領の様式 . . . . . P 8  
(時間的に猶予のない事態が生じた場合に使用する最小限の  
項目に限ったもの)

別 紙 避難実施要領の伝達先一覧表 . . . . . P 9

### ○事態に応じた避難実施要領のパターン例

1 弾道ミサイル攻撃 . . . . . P 1 0  
(弾道ミサイル発射時に取りべき行動を周知する場合)

2 ゲリラ・特殊部隊による攻撃 . . . . . P 1 2  
(爆発物を積載した車両が発見され避難施設に徒歩で避難する場合)

## 参考資料

- ・市町村国民保護モデル計画（平成18年1月 消防長国民保護室）
- ・「避難実施要領のパターン」作成の手引き（平成23年10月 消防庁国民保護室）

様式1 屋内避難における避難実施要領の様式

避 難 実 施 要 領	
とかがわ町長	
年 月 日 時 分現在	
屋 内 避 難	
<b>1 県からの避難の指示の内容</b>	
<b>2 事態の状況、関係機関の措置</b>	
<b>2-1 事態の状況</b>	
発生時期	年 月 日 :
発生場所	
実行の主体	
事案の概要と被害状況	
今後の予測・影響と措置	
気象の状況	天候： 気温： ℃ 風向： 風速： m/s
<b>2-2 避難住民の誘導の概要</b>	
要避難地域	
避難先と避難誘導の方針	
避難開始日時	
避難完了予定日時	
<b>2-3 関係機関の措置等</b>	
措置の概要	
連絡調整先	
<b>3 事態の特性で留意すべき事項</b>	
<b>4 住民の行動（基本事項）</b>	
屋内避難の指示を受けた場合の対応	
屋内にいる場合	
ドアや窓を全部閉め、換気扇を止める等、外気からできるだけ遮断されるようにする。 防災行政無線、テレビ、ラジオ等からの情報収集に努める。	
屋内にいない場合	
できる限り近隣の堅牢な建物、地下街等に避難する。	
<b>5 情報伝達</b>	
避難実施要領の住民への伝達方法	
避難実施要領の伝達先	別紙 伝達先一覧表による。
<b>6 緊急時の連絡先</b>	
とかがわ町	電 話：
国民保護／緊急対処事態対策本部	F A X：

様式2 町域内避難及び町域外避難における避難実施要領の様式

避 難 実 施 要 領			
			ときがわ町長
			年 月 日 時 分現在
町 域 内 避 難 及 び 町 域 外 避 難			
<b>1 県からの避難の指示の内容</b>			
<b>2 事態の状況、関係機関の措置</b>			
<b>2-1 事態の状況</b>			
発生時期	年 月 日 :		
発生場所			
実行の主体			
事案の概要と被害状況			
今後の予測・影響と措置			
気象の状況	天候 :	気温 : °C	風向 : 風速 : m/s
<b>2-2 避難住民の誘導の概要</b>			
要避難地域			
避難先と避難誘導の方針			
避難開始日時			
避難完了予定日時			
<b>2-3 関係機関の措置等</b>			
措置の概要			
連絡調整先			
<b>3 事態等の特性で留意すべき事項</b>			
事態の特性 (除染の必要性等)			
地域の特性			
時期による特性			
<b>4 避難者数 (単位:人)</b>			
地区名			合 計
避難者数 (計)			
うち要援護者数			
うち外国人等の数			
<b>5 避難施設</b>			
<b>5-1 避難施設</b>			
避難先地域			合 計
避難施設名			
所在地			
収容可能人数 (人)			
連絡先 (電話等)			

連絡担当者				
その他の留意事項等				
<b>5-2 一時集合場所</b>				
一時集合場所名				
所在地				
連絡先（電話等）				
連絡担当者				
その他の留意事項等				
<b>6 避難手段</b>				
輸送手段	鉄道 ・ バス ・ 徒歩 ・ その他（ ）			
輸送手段の詳細	種類（車種等）			
	台数			
	輸送可能人数			
	連絡先			
輸送力の配分の考え方				
その他輸送手段	要援護者			
	その他（入院患者等）			
<b>7 避難経路</b>				
避難に使用する経路				
交通規制	実施者の確認			
	規制にあたる人数			
	規制場所			
警備体制	実施者の確認			
	規制にあたる人数			
	規制場所			
<b>8 避難誘導方法</b>				
<b>8-1 避難（輸送）方法</b>				
地区				
一時集合場所への避難方法	誘導の実施単位			
	輸送手段			
	避難先			
	集合時間			
	その他（誘導責任者等）			
避難施設への避難方法	誘導の実施単位			
	輸送手段			
	避難経路			
	避難先			

	避難開始日時				
	避難完了予定日時				
	その他（誘導責任者等）				
要援護者等の避難方法	誘導の実施単位				
	要援護者への支援事項				
	輸送手段				
	避難経路				
	避難先				
	避難開始日時				
	避難完了予定日時				
<b>8-2 職員の配置方法</b>					
配置場所					
人数					
現地調整所					
<b>8-3 残留者の確認方法</b>					
確認者					
時期					
場所					
方法					
措置					
終了予定日時					
<b>8-4 避難誘導時の食糧の支援・提供方法</b>					
食事時期					
食事場所					
提供する食事の種類					
実施担当部署					
<b>8-5 追加情報の伝達方法</b>					
<b>9 避難時の留意事項（主に住民）</b>					
自宅から避難する場合の留意事項					
基本事項					
事態の特性					
時期の特性					

一時集合場所での対応	
10 誘導に際しての留意事項（職員）	
（心得・安全確保・服装等）	
11 情報伝達	
避難実施要領の住民への伝達方法	
避難実施要領の伝達先	別紙 伝達先一覧表による
職員間の連絡手段	
12 緊急時の連絡先	
ときがわ町	電 話：
国民保護／緊急対処事態対策本部	F A X：



様式3 最小限の項目に限った避難実施要領の様式

(時間的に猶予のない事態が発生した場合に使用する最小限の項目に限ったもの)

避 難 実 施 要 領	
とかがわ町長	
年 月 日 時 分現在	
<b>1 警報の内容</b>	
(事態の現状及び予測、住民等に周知すべき事項)	
<b>2 避難の指示</b>	
(要避難地域、避難先地域、関係機関が講ずべき措置の概要、避難の方法等)	
<b>3 避難の方法に関する事項 (法第 61 条第 2 項第 1 号)</b>	
要避難地域	
要避難者数	
うち要援護者数	
避難先地域	
一時集合場所及び集合方法	
集合時間	
避難経路	
避難手段	
避難開始日時	
<b>4 避難の実施に関し必要な事項 (法第 61 条第 2 項第 3 号)</b>	
避難施設	名称
	所在地
	連絡先
避難にあたっての留意事項	(携行品・服装等・避難誘導中の食料等の支援)
追加情報の伝達方法	
<b>5 避難住民の誘導に関する事項 (法第 61 条第 2 項第 2 号)</b>	
職員の配置場所・人数	
職員間の連絡方法	
要援護者の避難誘導方針	
残留者の確認方法	
<b>6 緊急時の連絡先</b>	
とかがわ町	電 話 :
国民保護／緊急対処事態対策本部	F A X :



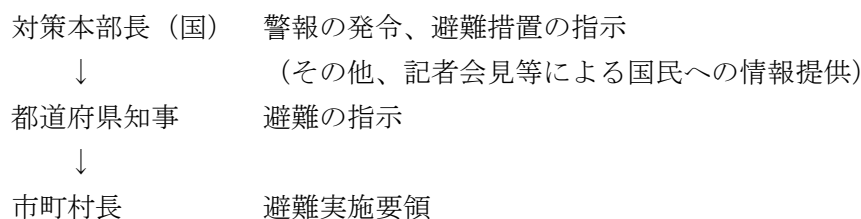
## 事態に応じた避難実施要領のパターン例 1

### ○弾道ミサイル攻撃（弾道ミサイル発射時に取りべき行動を周知する場合）

- ① 弾道ミサイル攻撃においては、実際に弾道ミサイルが発射されたとの警報が発令されたときは、住民は近傍のできるだけ頑丈な建物（コンクリート造り等の堅ろうな施設）や建築物の地階、地下街、地下駅舎等の地下施設に避難することになる。
- ② 以下の弾道ミサイル攻撃の場合の措置の流れを前提として、避難実施要領の内容は、あらかじめ出される避難措置の指示及び避難の指示に基づき、弾道ミサイルが発射された段階で迅速に個人が対応できるよう、その取るべき行動を周知することが主な内容となる。

（弾道ミサイル攻撃の場合の措置の流れ）

ア 対策本部長（国）は、弾道ミサイルの発射が差し迫っているとの警報を発令、避難措置を指示



イ 実際に弾道ミサイルが発射されたときは、対策本部長（国）がその都度警報を発令

様式1 屋内避難における避難実施要領の様式

避 難 実 施 要 領 <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">                     としがわ町長                      ○年○月○日○時○分現在                 </div> 屋 内 避 難	
<b>1 県からの避難の指示の内容</b>	
別添のとおり（略）	
<b>2 事態の状況、関係機関の措置</b>	
<b>2-1 事態の状況</b>	
発生時期	○年○月○日（○）○：○
発生場所	関東地方
実行の主体	○○
事案の概要と被害状況	対策本部長（国）は、弾道ミサイルの発射の兆候があることから、発射された場合に備えた対応を講じることができるよう、あらかじめ

	<p>め警報を発令し、避難措置の指示（屋内避難）を行った。</p> <p>このため、ミサイルが発射された場合において住民が迅速に対応できるように、住民に対して、以後、警報の発令に関する情報に注意するとともにその場合に住民がとるべき行動について周知する。</p> <p>なお、今後弾道ミサイルが発射された場合は、その都度警報が発令される。</p>
今後の予測・影響と措置	<p>弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性がある。</p> <p>ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、「Jアラート」により防災行政無線からサイレン音とメッセージが流れるほか、緊急速報メール等により緊急情報が周知される。</p> <p>住民に対し、防災行政無線等により情報発信をするとともに、テレビ、ラジオ等からの情報入手を呼びかける。</p>
気象の状況	天候○ 気温○℃ 風向○ 風速○m/s
<b>2-2 避難住民の誘導の概要</b>	
要避難地域	ときがわ町全域
避難先と避難誘導の方針	<p>屋外にいる場合： できる限り頑丈な建物や地下への避難  建物がない場合： 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る  屋内にいる場合： 窓から離れるか、窓のない部屋への移動</p> <p><b>【ミサイルが落下した場合】</b></p> <p>屋外にいる場合： 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難  屋内にいる場合： 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する</p>
避難開始日時	警報発令時
避難完了予定日時	直ちに
<b>2-3 関係機関の措置等</b>	
措置の概要	<p>警察署：○○  消防署：○○</p>
連絡調整先	<p>警察署：○○  消防署：○○</p>
<b>3 事態の特性で留意すべき事項</b>	
<p>弾道ミサイル攻撃については、発射の兆候を事前に察知した場合でも、発射された段階で攻撃目標を特定することは極めて困難とされているため、ミサイル情報には十分に注意する。</p> <p>弾道ミサイルの着弾音と考えられる不審な音を聞いた場合には、町、消防機関、警察へ通報するよう周知する。</p> <p>着弾地点の周辺には、近づかないように周知する。</p>	
<b>4 住民の行動（基本事項）</b>	
屋内避難の指示を受けた場合の対応	
屋内にいる場合	

<p>ドアや窓を全部閉め、換気扇を止める等、外気からできるだけ遮断されるようにする。 防災行政無線、テレビ、ラジオ等からの情報収集に努める。</p>	
<p>屋内にいない場合</p> <p>できる限り近隣の堅牢な建物、地下街等に避難する。</p> <p>車両内に在る者に対しては、車両を道路外の場所（やむを得ず道路に置いて避難するときがは、道路の左側端に沿って駐車する等緊急車両の通行の妨げにならない場所）に止める。</p> <p>外出先においては、可能な限り、大規模集客施設や地下街等の屋内に避難する。</p> <p>屋内避難の余裕がない場合は、何らかの遮蔽物の物陰に留まる。その際、ガラス張りの建築物の下は避ける。</p>	
<p><b>5 情報伝達</b></p>	
<p>避難実施要領の住民への 伝達方法</p>	<p>防災行政無線、防災メール（登録制） ホームページ、〇〇</p>
<p>避難実施要領の伝達先</p>	<p>別紙 伝達先一覧表のとおり（略）</p>
<p><b>6 緊急時の連絡先</b></p>	
<p>ときがわ町 国民保護／緊急対処事態対策本部</p>	<p>電 話：〇〇－〇〇〇〇 F A X：〇〇－〇〇〇〇</p>

## 事態に応じた避難実施要領のパターン例 2

### ○ゲリラ・特殊部隊による攻撃（爆発物を積載した車両が発見され避難施設に徒歩で避難する場合）

① ゲリラ・特殊部隊による攻撃においても、対策本部長（国）による避難措置の指示、都道府県知事による避難の指示を踏まえて避難実施要領を策定し、迅速に避難を実施することが基本である。

なお、急襲的な攻撃に際しては、避難措置の指示を待たずに、退避の指示、警戒区域の設定等を行う必要が生じるが、事後的に避難措置の指示が出されることが基本である。

② ゲリラ・特殊部隊による攻撃からの避難は、多くの場合は、攻撃への排除活動と並行して行われることが多いことから、警報の内容等とともに、現場における自衛隊、海上保安部等及び警察からの情報や助言等を踏まえて、最終的には、住民を要避難地域の外に避難させることとなる。その際、武力攻撃がまさに行われており、住民に危害が及ぶおそれがある地域については、攻撃当初は、一時的に屋内に避難させ、移動の安全が確保された後、適当な避難先に移動させることが必要となる。

③ 以上から、避難実施要領の策定にあたっては、各執行機関、消防機関、県、警察、海上保安部、自衛隊等の関係機関の意見を聞き、それらの機関からの情報や助言を踏まえて避難の方法を策定することが必要であり、また、事態の変化等に機敏に対応するため、現場における関係機関の情報を共有し、関係機関からの助言に基づいた確かな措置を実施できるよう、現地調整所に派遣している職員から必要な情報を入手し、避難実施要領の弾力的な運用を行うこととする。

様式2 町域内避難及び町域外避難における避難実施要領の様式

避 難 実 施 要 領	
ときがわ町長 ○年○月○日○時○分現在	
町 域 内 避 難 及 び 町 域 外 避 難	
1 県からの避難の指示の内容	
別添のとおり（略）	
2 事態の状況、関係機関の措置	
2-1 事態の状況	
発生時期	○年○月○日（○）○：○
発生場所	○○センター
実行の主体	不明
事案の概要と被害状況	○○センター付近に停車中の車両から時限式の爆発物が発見された。情報によると○時○分に爆破する計画になっている。
今後の予測・影響と措置	爆破物への対応に時間を要することが予想されることから、1日

	程度避難施設にとどまることを考慮することが必要。		
気象の状況	天候：○ 気温：○℃ 風向：東 風速：2 m/s		
<b>2-2 避難住民の誘導の概要</b>			
要避難地域	大字○○		
避難先と避難誘導の方針	大字○○の住民を、徒歩で大字○○以外の地域に避難させる。		
避難開始日時	○年○月○日 (○) ○：○		
避難完了予定日時	○年○月○日 (○) ○：○		
<b>2-3 関係機関の措置等</b>			
措置の概要	消防：現場の状況から半径○○m圏内を包含する区域を消防警戒区域と設定 警察：消防の警戒区域に基づき交通規制を実施 鉄道事業者：明覚駅付近は運行停止 バス事業者：明覚駅付近は運行禁止		
連絡調整先	県対策本部：町職員を○名派遣 現地調整所：町職員を○名派遣 その他関係機関：連絡先は別添のとおり（略）		
<b>3 事態等の特性で留意すべき事項</b>			
事態の特性 (除染の必要性等)	判明した爆破計画には、大量殺傷物質等を用いる計画は含まれておらず、避難時に除染等の特別な対応は必要ない。		
地域の特性	自主防災組織により隣組単位の行動が期待できる。 医療機関が所在するため、要援護者の避難には、医療機関や自主防災組織と連携して介助者を派遣して避難を行う。		
時期による特性	小学校、中学校の児童、生徒は帰宅している時刻となるため、学校からの避難は基本的に検討する必要はない。 雨も予想されることから、着替えや雨合羽の準備を伝達する。		
<b>4 避難者数 (単位：人)</b>			
地区名	大字○○		合計
避難者数 (計)	○人 (住民数、買物客数等)		
うち要援護者数	○人 (住民数、通院患者数)		
うち外国人等の数	○人 (住民数)		
<b>5 避難施設</b>			
<b>5-1 避難施設</b>			
避難先地域	大字○○以外の地域	大字○○以外の地域	合計
避難施設名	○○中学校	○○小学校	
所在地	大字○○ ○○番地	大字○○ ○○番地	
収容可能人数 (人)	○人	○人	
連絡先 (電話等)	○○-○○○○	○○-○○○○	

連絡担当者	町本部：〇〇 避難所：〇〇	町本部：〇〇 避難所：〇〇		
その他の留意事項等	—	—		
<b>5-2 一時集合場所</b>				
一時集合場所名	—	—		
所在地	—	—		
連絡先（電話等）	—	—		
連絡担当者	—	—		
その他の留意事項等	—	—		
<b>6 避難手段</b>				
輸送手段	鉄道 ・ バス ・ 徒歩 ・ その他（要援護者用の車）			
輸送手段の詳細	種類（車種等）	—		
	台数	—		
	輸送可能人数	—		
	連絡先	—		
輸送力の配分の考え方	—			
その他輸送手段	要援護者	自力歩行が困難な高齢者等に対しては、避難施設まで町の保有車両による搬送を行う。		
	その他（医療機関等）	要避難地域内の医療機関及び避難先地域の医療機関と調整し、救急車による搬送を行う。		
<b>7 避難経路</b>				
避難に使用する経路	主な避難経路は、「〇〇通り」とする。 詳細は別添の地図のとおり。			
交通規制	実施者の確認	警察署		
	規制にあたる人数	〇人程度		
	規制場所	住民等を速やかに避難させる必要があるため、警察では主要な避難経路のうち、別紙に示す区間で交通規制を行う。		
警備体制	実施者の確認	警察署		
	規制にあたる人数	〇人程度		
	規制場所	交通規制を行った付近で警備を行う。		
<b>8 避難誘導方法</b>				
<b>8-1 避難（輸送）方法</b>				
地区	大字〇〇			
一時集合場所への避難方法	誘導の実施単位	—		
	輸送手段	—		
	避難先	—		
	集合時間	—		
	その他（誘導責任者等）	—		
避難施設	誘導の実施単位	大字〇〇	大字〇〇	



への避難 方法		〇〇組	〇〇組		
	輸送手段	徒歩	徒歩		
	避難経路	「〇〇通り」 を使用する。 (詳細は経路 図を参照)	「〇〇通り」 を使用する。 (詳細は経路 図を参照)		
	避難先	〇〇中学校	〇〇小学校		
	避難開始日時	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇		
	避難完了予定日時	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇		
	その他 (誘導責 任者等)	—	—		
要援護者 等の避難 方法	誘導の実施単位	災害時要援護者の避難支援プランに基づいて個別に設定。			
	要援護者への 支援事項	要援護者に応じた対応を実施。 〇〇医療機関の患者は、〇〇へ避難させる。			
	輸送手段	救急車、〇〇課車両			
	避難経路	徒歩避難経路以外を使用する。			
	避難先	〇〇中学校、〇〇小学校			
	避難開始日時	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇			
	避難完了予定日時	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇			
<b>8-2 職員の配置方法</b>					
配置場所	〇〇中学校前、〇〇小学校前 主要な交差点 (〇箇所)				
人数	〇〇中学校前 〇名 〇〇小学校前 〇名 〇〇交差点 〇名 計〇名 ※ 配置図に職員名と連絡先を記載する。				
現地調整所	連絡要員を〇名配置				
<b>8-3 残留者の確認方法</b>					
確認者	町職員 (〇人)、消防団員 (〇人)				
時期	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇				
場所	大字〇〇				
方法	広報車及び防災行政無線による呼びかけ、個別訪問				
措置	残留者に対し避難するよう求める。				
終了予定日時	〇年〇月〇日 ( ) 〇 : 〇				

<b>8-4 避難誘導時の食糧の支援・提供方法</b>	
食事時期	避難施設にて提供
食事場所	〇〇中学校、〇〇小学校
提供する食事の種類	防災備蓄食料
実施担当部署	〇〇課
<b>8-5 追加情報の伝達方法</b>	
—	
<b>9 避難時の留意事項（主に住民）</b>	
自宅から避難する場合の留意事項	
基本事項	
避難時は、金銭、貴重品、パスポートや運転免許証等本人確認ができるもの、最小限の着替えや日用品、その他非常持ち出し品等を携行するものとする。	
事態の特性	
発見された爆発物は、大量殺傷物質等を用いられている可能性は低い。	
時期の特性	
雨も予想されることから、着替えや雨合羽の準備が必要である。	
一時集合場所での対応	
—	
<b>10 誘導に際しての留意事項（職員）</b>	
（心得・安全確保・服装等）	
職員は冷静沈着に行動すること。	
防災活動服、防災ベスト等の着用により、誘導員であること等の立場や役割を明確にし、その活動に理解を求めること。	
<b>11 情報伝達</b>	
避難実施要領の住民への伝達方法	防災行政無線、防災メール（登録制）を用いて避難実施要領の内容を伝達。 広報車、消防車両の活用。 区長、自主防災組織の代表者には直接伝達
避難実施要領の伝達先	別紙 伝達先一覧表のとおり（略）
職員間の連絡手段	別紙 電話番号一覧表のとおり（略）
<b>12 緊急時の連絡先</b>	
ときがわ町	電 話：〇〇－〇〇〇〇
国民保護／緊急対処事態対策本部	F A X：〇〇－〇〇〇〇